

講座13

太平洋戦争に翻弄された道民史

令和7年は戦後80年にあたる大きな節目の年。この講座では著名な北海道史研究家から4回シリーズで意外と知られていない太平洋戦争に翻弄された道民生活の史実を学び、改めて戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に語り継いでいくことの重要性を再確認する機会とします。



「隼」の残骸 室蘭



＜軍需工場で働く道愛女学校の生徒＞
昭和20年3月11日付「北海道新聞」

講師 **森山 祐吾** 北海道史研究家・ノンフィクション作家

- 第1回 「近づく大戦の足音」 ^{令和7年} 2月22日(土) 10:30～12:00
- 第2回 「戦争へ国家総動員」 3月 1日(土) 10:30～12:00
- 第3回 「大戦勃発と戦力増強」 3月 8日(土) 10:30～12:00
- 第4回 「空爆そして終戦、平和の願い」 3月15日(土) 10:30～12:00

会場 / 石狩市花川北コミュニティセンター
(石狩市花川北3条2丁目 ☎ 0133-74-6525)

- ◆申込み／締切 2月6日(木)
- ◆受講料／カレッジ生 500円 一般 700円 (各回ごと徴収)
- ◆申込み・問合せ／いしかり市民カレッジ運営委員会事務局 (社会教育課内)

※ TEL/FAX : 0133-74-2249 (月～金の9時～17時)

※ ホームページからの申し込みは右端のQRコードから

もしくは、いしかり市民カレッジのホームページ内「講座の申込み」をクリック

